

安心・安全な活動のために

◎『ヒヤリ・ハット』をお知らせください！



子どもは予測のつかない行動をします。援助活動中、実際には大事に至らなかったけれど、「ヒヤリ・ハット」体験があったときは、センターまでご報告をお願いします。

事例の原因を検証して「安全チェックリスト」の項目に加え、みなさんへの注意喚起をし、事故防止対策のための大切な情報とさせていただきます。ご協力をお願いします。

◎厚生労働省より通知がありました。

重大な事故が発生した場合は、原則事故当日の報告が義務付けられました。活動中に事故が起こった場合は、至急センターまでご連絡ください。ご協力をお願いします。

◎ 交流会 ◎



講座の後は、心ばかりのコーヒータイム。時間が短くなり申し訳なかったのですが、会員さん同士、楽しく情報交換をされていました。



皆さま、お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。次回もお待ちしています！

どっちも会員さんに聞く！

私のファミサポ活動



たかまつファミサポでは、まかせて会員養成講座の中で、実際に活動中の先輩会員さんにお話を伺う時間を設けています。今回は、どっちも会員さんのお話をご紹介します。現在子育て中の方もぜひ参考になさってください。

お話いただいた人

宮住 美加さん

(会員登録 平成 23 年 7 月)

二人の息子さんのママ。

過去、10組とマッチング。保育所のお迎えと預かりや産後応援の形で上の子の預かりなど、様々なニーズに快く対応してくださっています。



◎これなら私もできるかも



活動を始めたきっかけは、上の子が幼稚園、下の子がまだ未就園児だった時、幼稚園のママ友がまかせて会員の活動をしていて、「自分の活動範囲の中でできることをして、自分の子どももすごく楽しんでいるよ」という風に聞いたことです。それまでは自分の子どもが小さいので、みてもらう側の発想はあったのですが、まさか自分が誰かの役に立つことができるなんて、そんな発想がなかったので、びっくりしたと同時に、「これなら私もできるかも、やってみたい！」と思いました。

◎私と同じくらい楽しみにしてくれてる

片付けていたおもちゃを小さい子向けに出すこともあるので、二人の息子は久しぶりの遊びを真剣に楽しんだり、小さい子のお世話を喜んでしたりしています。援助する方はご近所の方なので、公園に行くときに、お母さんとお子さんに会ったりすることもあるようで、その時は、とても喜んで挨拶したり、話をしたりするみたいです。帰ってくると「今日会って、こんな話をしたよ〜、今度はいつ来るのかな〜」と、私と同じくらい援助活動を楽しみにしてくれているので、助かります。



◎嬉しかったことはいっぱい

慣れてきて、「抱っこ！」と甘えてきてくれたり、いろんな話をしてくれたりする時はとても嬉しいです。今は小学生になって援助がいらなくなったお子さんが、援助の最終日に私や息子にとても気持ちを込めたお手紙を書いたのも、とても嬉しかったです。その子に偶然会った時に、お互いに気づいて、「あ〜、元気？どうしてる？」みたいな感じで話ができたことも感激でした。援助活動中はもちろんなのですが、その活動が終わった後も道やスーパーで会った時に、挨拶や話ができる、そういう関係が続けられるというのは、この活動をしていなかったら出会えてないので、「幸せだな、嬉しいな」と思います。

◎自分にも時間的にも余裕をもって

大切なお子さんを預かるので、ケガがないように、子どもの特性をちゃんと事前に聞いて、使うおもちゃを考えたり、安全な部屋づくりをしたりしています。自分に余裕がないと目を離す隙ができてしまうので、家事とかもお子さんが来ている時はしないと決めています。自分にも時間的にも余裕をもって、お子さんと触れ合えるように心掛けています。

◎親御さんとの共感がやりがい

以前は言えなかったことが言えたり、出来なかったことが出来たり、毎回お子さんの成長を感じます。それを親御さんと一緒に共感できる、喜び合えるというのも、とても楽しいことです。それと同時に、自分の子どもも成長していて、以前はここで子ども同士張り合っていたな、おもちゃの取り合いをしていたなというようなところも、重ねていくと、小さい子に対する対応が上手になっている。そういう姿をみると、「やっぱりやってよかった！」と思います。

気分わず、ご家族と共にファミサポの活動を楽しんでいる宮住さん。

その姿勢は、地域にあたたかな繋がりを紡いでいるように思いました。

これからもどうぞ楽しく活動を続けてください。

